

第V章 家計

ここでは、世帯の収入内訳（年収）と支出（生活費、医療・介護費の月額）および世帯として保有している資産について捉えている。

1. 収入

(1) 昨年1年間の収入

昨年1年間の収入を捉えるため、自分自身と配偶者（配偶者がいない場合は自分自身のみ）の昨年1年間の収入内訳について以下のように尋ねた。

あなたと配偶者の夫婦2人（配偶者がいらっしゃらない場合はあなた）の昨年1年間の収入額（税込み）の内訳はどのようになりますか。(1) 公的年金と(2) 働いて得る収入、(3) その他の収入のそれぞれについて、おおよその金額で結構ですのでお答えください。なお、収入がない場合は、0円とお答えください。

- (1) 公的年金(国民年金、厚生年金、共済年金) …… 年間約 万円
 (2) 働いて得る収入 …… 年間約 万円
 (3) その他の収入 …… 年間約 万円

【昨年1年間の収入】

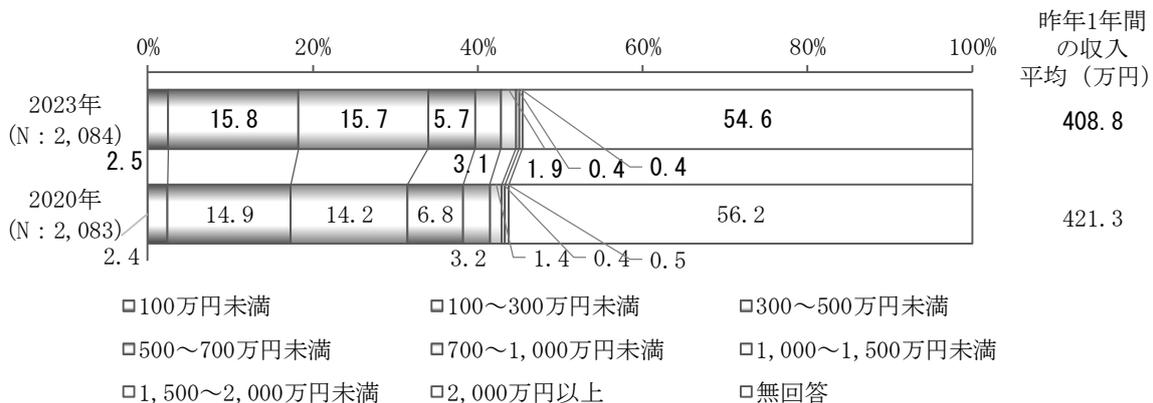
- (1) 公的年金 (2) 働いて得る収入 (3) その他の収入 に回答した金額を合算し、以下の金額帯に分類
- | | |
|---------------|-------------------|
| 1 100万円未満 | 5 700～1,000万円未満 |
| 2 100～300万円未満 | 6 1,000～1,500万円未満 |
| 3 300～500万円未満 | 7 1,500～2,000万円未満 |
| 4 500～700万円未満 | 8 2,000万円以上 |

その結果、「100～300万円未満」が15.8%、「300～500万円未満」が15.7%と多く、次いで、「500～700万円未満」が5.7%の順となっている。

また、平均は408.8万円となっている。

前回と比較すると、特に差はみられない。(図表V-1)

<図表 V-1> 昨年1年間の収入



性別にみると、「100万円未満」は、女性の方が男性を上回っている。一方、「300～500万円未満」「500～700万円未満」「700～1,000万円未満」「1,000～1,500万円未満」は、男性の方が女性より高くなっている。

平均は、女性の344.8万円より男性の469.6万円が上回っている。

年齢別に平均をみると、概ね高い年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。(図表V-2)

<図表 V-2> 昨年1年間の収入〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	100万円 未満	100～300 万円未満	300～500 万円未満	500～700 万円未満	700～ 1,000 万円未満
全 体		2,084	2.5	15.8	15.7	5.7	3.1
性別	男 性	996	1.5▲	14.3	17.5	7.3	4.0
	女 性	1,088	3.4	17.2	14.2▲	4.1▲	2.3▲
本人 年齢別	60～64歳	380	1.1▲	9.2▲	17.9	11.1	6.3
	65～69歳	400	2.3	13.3	17.5	8.8	4.8
	70～74歳	463	1.9	14.7	18.6	5.4	2.6
	75～79歳	369	2.4	20.6	18.7	2.2▲	1.9
	80～84歳	273	3.3	20.1	7.3▲	2.2▲	0.7▲
	85～89歳	141	6.4	18.4	7.8▲	0.7▲	0.7
	90歳以上	58	5.2	27.6	6.9	1.7	-

		N	1,000～ 1,500 万円未満	1,500～ 2,000 万円未満	2,000 万円以上	無回答	平収昨 均入年 (万 円) 間の の
全 体		2,084	1.9	0.4	0.4	54.6	408.8
性別	男 性	996	3.0	0.6	0.6	51.2▲	469.6
	女 性	1,088	0.8▲	0.2	0.2	57.6	344.8▲
本人 年齢別	60～64歳	380	5.8	1.1	1.1	46.6▲	565.5
	65～69歳	400	2.3	0.3	0.3	50.8	442.5
	70～74歳	463	1.1	0.2	0.2	55.3	398.5
	75～79歳	369	0.5▲	0.5	0.3	52.8	349.1▲
	80～84歳	273	0.4▲	-	0.4	65.6	278.7▲
	85～89歳	141	-	-	-	66.0	218.1▲
	90歳以上	58	-	-	-	58.6	221.0▲

本人の現在の職業別にみると、「100万円未満」「100～300万円未満」は無職で高くなっている。「300～500万円未満」は非正規社員で、「500～700万円未満」は常雇被用者、パート・アルバイトで、「700～1,000万円未満」は常雇被用者で、「1,000～1,500万円未満」は商工サービス業、常雇被用者で、それぞれ高くなっている。

平均をみると、商工サービス業は 615.2 万円、常雇被用者は 645.2 万円であるのに対し、無職は 314.3 万円と低くなっている。(図表V-3)

<図表 V-3> 昨年1年間の収入〔本人職業（現在）別〕

		(単位：%)					
		N	100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満
全体		2,084	2.5	15.8	15.7	5.7	3.1
本人職業（現在）別	自営者	247	1.2	9.7▲	13.4	7.3	5.3
	農林漁業	29	-	6.9	3.4	3.4	3.4
	商工サービス業	174	1.7	10.3▲	16.7	8.0	5.7
	自由業	44	-	9.1	6.8	6.8	4.5
	常雇被用者	212	-	6.1▲	15.1	15.1	10.4
	公務員	38	-	2.6▲	18.4	21.1	10.5
	民間企業被用者	174	-	6.9▲	14.4	13.8	10.3
	非正規社員	293	0.3▲	14.7	20.1	8.2	2.7
	派遣社員・契約社員	48	-	14.6	27.1	6.3	2.1
	パート・アルバイト	245	0.4▲	14.7	18.8	8.6	2.9
無職	1,285	3.7	19.1	15.3	3.0▲	1.7▲	
その他	31	-	3.2	16.1	12.9	-	

		N	1,000～1,500万円未満	1,500～2,000万円未満	2,000万円以上	無回答	平収昨 均入年 （万 円） 1年 間の の
全体		2,084	1.9	0.4	0.4	54.6	408.8
本人職業（現在）別	自営者	247	5.7	1.6	0.8	55.1	609.2
	農林漁業	29	3.4	-	-	79.3	574.0
	商工サービス業	174	5.2	2.3	1.1	48.9	615.2
	自由業	44	9.1	-	-	63.6	588.9
	常雇被用者	212	6.6	1.4	0.9	44.3▲	645.2
	公務員	38	7.9	2.6	-	36.8▲	652.5
	民間企業被用者	174	6.3	1.1	1.1	46.0▲	643.3
	非正規社員	293	0.3▲	-	-	53.6	381.6
	派遣社員・契約社員	48	2.1	-	-	47.9	397.7
	パート・アルバイト	245	-	-	-	54.7	377.9
無職	1,285	0.5▲	-	0.2	56.3	314.3▲	
その他	31	9.7	3.2	-	54.8	691.9	

(2) 公的年金収入年額

昨年1年間の公的年金収入年額を捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたと配偶者の夫婦2人（配偶者がいらっしゃらない場合はあなた）の昨年1年間の収入額（税込み）の内訳はどのようになりますか。(1) 公的年金と (2) 働いて得る収入、(3) その他の収入のそれぞれについて、おおよその金額で結構ですでお答えください。なお、収入がない場合は、0円とお答えください。

- (1) 公的年金(国民年金、厚生年金、共済年金) …… 年間約 万円
 (2) 働いて得る収入 …… 年間約 万円
 (3) その他の収入 …… 年間約 万円

【公的年金収入年額】

(1) 公的年金に回答した金額を、以下の金額帯に分類

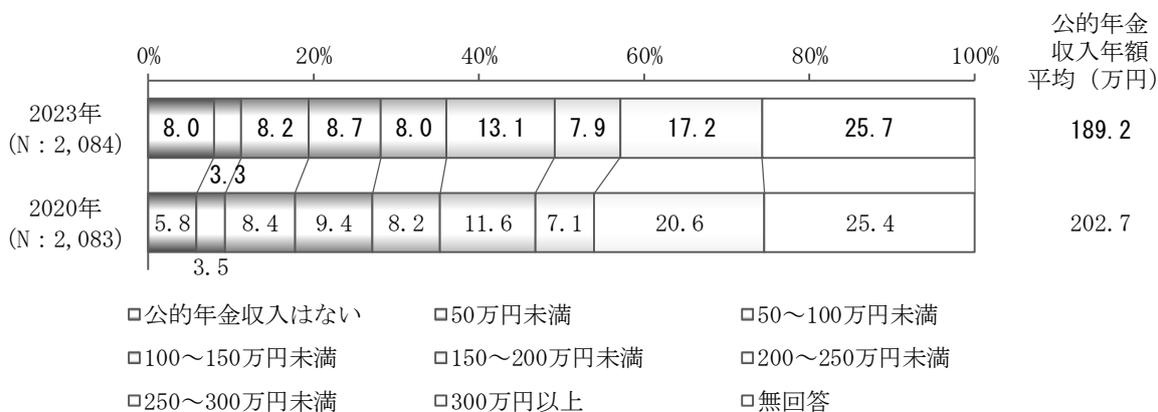
- | | |
|---------------|---------------|
| 1 公的年金収入はない | 5 150～200万円未満 |
| 2 50万円未満 | 6 200～250万円未満 |
| 3 50～100万円未満 | 7 250～300万円未満 |
| 4 100～150万円未満 | 8 300万円以上 |

その結果、「300万円以上」が17.2%と最も多く、次いで、「200～250万円未満」が13.1%、「100～150万円未満」が8.7%、「50～100万円未満」が8.2%の順となっている。

また、「公的年金収入はない」は8.0%であり、平均は、189.2万円となっている。

前回と比較すると、「公的年金収入はない」が2.2ポイント増加し、「300万円以上」が3.4ポイント減少している。また、平均は13.5万円減少している。(図表V-4)

<図表 V-4> 公的年金収入年額



性別にみると、「公的年金収入はない」「300万円以上」は女性より男性で高くなっている。「50～100万円未満」は、女性の方が男性を上回っている。

平均をみると、性別では大きな差がみられない。

年齢別にみると、「公的年金収入はない」は60～64歳で37.9%と高く、この年齢層では50万円以上の金額帯で低くなっている。

平均をみると、60～64歳で66.5万円と低く、70～89歳の層で215.2～232.4万円と200万円を超えて高くなっている。(図表V-5)

<図表 V-5> 公的年金収入年額〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	公的年金 収入は ない	50万円 未満	50～100 万円未満	100～150 万円未満	150～200 万円未満
全 体		2,084	8.0	3.3	8.2	8.7	8.0
性別	男 性	996	10.9	3.0	6.6▲	8.1	7.4
	女 性	1,088	5.2▲	3.6	9.6	9.2	8.5
本人 年齢別	60～64歳	380	37.9	6.6	4.5▲	5.5▲	3.9▲
	65～69歳	400	3.8▲	5.0	10.5	11.5	8.3
	70～74歳	463	0.4▲	2.2	6.7	7.3	8.9
	75～79歳	369	1.4▲	0.8▲	8.7	9.5	8.1
	80～84歳	273	-	1.8	9.5	9.5	11.7
	85～89歳	141	-	1.4	12.8	10.6	7.1
	90歳以上	58	-	6.9	6.9	6.9	8.6

		N	200～250 万円未満	250～300 万円未満	300万円 以上	無回答	平収公 均入的 (年 万額金 円)
全 体		2,084	13.1	7.9	17.2	25.7	189.2
性別	男 性	996	14.1	7.9	19.1	22.8▲	192.0
	女 性	1,088	12.2	7.9	15.4▲	28.4	186.5
本人 年齢別	60～64歳	380	5.3▲	2.9▲	3.4▲	30.0	66.5▲
	65～69歳	400	13.8	9.0	13.3▲	25.0	178.3
	70～74歳	463	18.1	9.7	23.8	22.9	232.4
	75～79歳	369	14.9	10.3	22.8	23.6	224.5
	80～84歳	273	11.4	9.2	21.2	25.6	224.7
	85～89歳	141	13.5	4.3	20.6	29.8	215.2
	90歳以上	58	15.5	6.9	19.0	29.3	208.1

本人の現在の職業別にみると、「公的年金収入はない」は、常雇被用者で高くなっている。低額の「50万円未満」は自営者、パート・アルバイトで、「50～100万円未満」は商工サービス業で、それぞれ高くなっている。無職では、「公的年金収入はない」および低額の「50万円未満」が低く、一方、「200万円以上」の高額帯でいずれも高くなっている。

平均をみると、無職が219.8万円と高くなっている。(図表V-6)

<図表 V-6> 公的年金収入年額〔本人職業（現在）別〕

		(単位：%)					
		N	公的年金 収入は ない	50万円 未満	50～100 万円未満	100～150 万円未満	150～200 万円未満
全 体		2,084	8.0	3.3	8.2	8.7	8.0
本人 職業 (現在) 別	自 営 者	247	10.1	6.1	13.0	11.3	8.9
	農 林 漁 業	29	3.4	6.9	20.7	6.9	13.8
	商 工 サ ー ビ ス 業	174	9.2	5.7	14.4	11.5	9.8
	自 由 業	44	18.2	6.8	2.3	13.6	2.3
	常 雇 被 用 者	212	31.1	5.2	7.5	8.5	5.2
	公 務 員	38	23.7	5.3	5.3	5.3	2.6
	民 間 企 業 被 用 者	174	32.8	5.2	8.0	9.2	5.7
	非 正 規 社 員	293	7.8	5.5	8.5	10.2	8.5
	派 遣 社 員 ・ 契 約 社 員	48	12.5	4.2	6.3	12.5	8.3
	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	245	6.9	5.7	9.0	9.8	8.6
無 職	1,285	3.6▲	2.1▲	7.3	8.1	8.1	
そ の 他	31	19.4	-	3.2	3.2	3.2	

		N	200～250 万円未満	250～300 万円未満	300万円 以上	無回答	平 均 公 的 入 金 年 額 (万円)
全 体		2,084	13.1	7.9	17.2	25.7	189.2
本人 職業 (現在) 別	自 営 者	247	9.7	4.9	6.5▲	29.6	132.4▲
	農 林 漁 業	29	6.9	-	6.9	34.5	128.6▲
	商 工 サ ー ビ ス 業	174	11.5	5.7	5.7▲	26.4	136.1▲
	自 由 業	44	4.5	4.5	9.1	38.6	117.3▲
	常 雇 被 用 者	212	7.5▲	3.3▲	6.1▲	25.5	96.9▲
	公 務 員	38	10.5	10.5	10.5	26.3	137.6▲
	民 間 企 業 被 用 者	174	6.9▲	1.7▲	5.2▲	25.3	88.2▲
	非 正 規 社 員	293	13.3	5.8	11.3▲	29.0	164.5▲
	派 遣 社 員 ・ 契 約 社 員	48	10.4	4.2	8.3	33.3	142.2▲
	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	245	13.9	6.1	11.8▲	28.2	168.6▲
無 職	1,285	14.6	9.7	22.6	23.9▲	219.8	
そ の 他	31	9.7	12.9	9.7	38.7	159.6	

(3) 就労収入年額

昨年1年間の就労収入年額を捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたと配偶者の夫婦2人（配偶者がいらっしゃらない場合はあなた）の昨年1年間の収入額（税込み）の内訳はどのようになりますか。（1）公的年金と（2）働いて得る収入、（3）その他の収入のそれぞれについて、おおよその金額で結構ですでお答えください。なお、収入がない場合は、0円とお答えください。

- (1) 公的年金(国民年金、厚生年金、共済年金) …… 年間約 万円
 (2) 働いて得る収入 …… 年間約 万円
 (3) その他の収入 …… 年間約 万円

【就労収入年額】

(2) 働いて得る収入に回答した金額を、以下の金額帯に分類

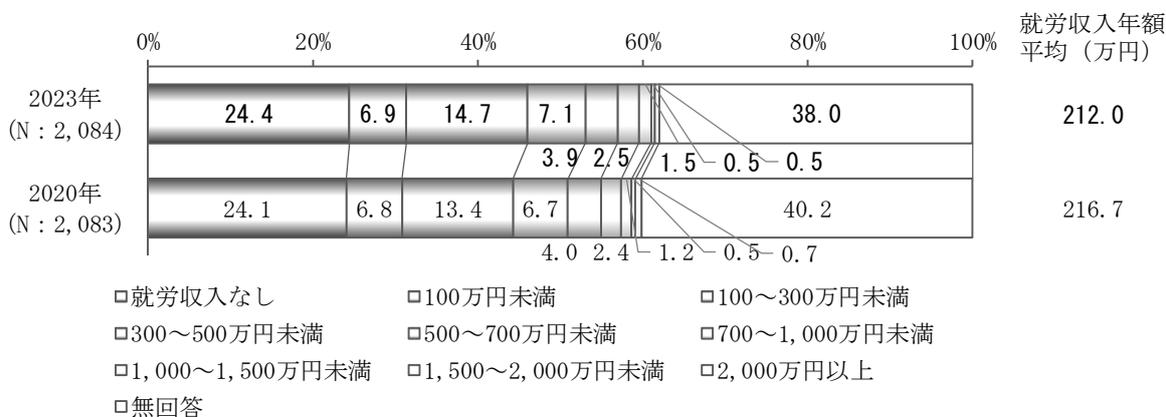
- | | |
|---------------|-------------------|
| 1 就労収入なし | 6 700～1,000万円未満 |
| 2 100万円未満 | 7 1,000～1,500万円未満 |
| 3 100～300万円未満 | 8 1,500～2,000万円未満 |
| 4 300～500万円未満 | 9 2,000万円以上 |
| 5 500～700万円未満 | |

その結果、「就労収入なし」が24.4%と最も多く、次いで、「100～300万円未満」が14.7%、「300～500万円未満」が7.1%、「100万円未満」が6.9%の順となっている。

また、平均は、212.0万円となっている。

前回と比較すると、特に差はみられない。（図表V-7）

<図表 V-7> 就労収入年額



性別にみると、「500～700万円未満」「700～1,000万円未満」「1,000～1,500万円未満」は、男性の方が女性より高くなっている。

平均は、女性の161.2万円より男性の263.6万円が上回っている。

年齢別にみると、「就労収入なし」は60～69歳の層で低く、高い年齢層ほど高くなっている傾向がみられる。「100万円未満」「100～300万円未満」は、65～69歳で最も高く、高い年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。

平均は、60～64歳の458.9万円が最も高く、高い年齢層ほど急激に低くなっている傾向がみられる。

(図表V-8)

<図表 V-8> 就労収入年額〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	就労収入なし	100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満
全 体		2,084	24.4	6.9	14.7	7.1	3.9	2.5
性別	男 性	996	22.6	6.0	14.7	8.1	6.1	3.4
	女 性	1,088	26.1	7.7	14.7	6.1	1.8▲	1.7▲
本人年齢別	60～64歳	380	9.5▲	4.5▲	14.2	20.5	11.1	9.2
	65～69歳	400	15.3▲	9.8	24.5	8.8	6.0	3.0
	70～74歳	463	25.1	8.6	21.4	5.2	1.7▲	0.9▲
	75～79歳	369	34.1	8.9	11.4▲	1.9▲	1.4▲	0.3▲
	80～84歳	273	32.6	4.0▲	4.0▲	0.7▲	-	0.4▲
	85～89歳	141	35.5	2.8▲	0.7▲	0.7▲	1.4	-
	90歳以上	58	53.4	-	1.7▲	-	-	-

		N	1,000～1,500万円未満	1,500～2,000万円未満	2,000万円以上	無回答	平年就均額労 収入 (万円)
全 体		2,084	1.5	0.5	0.5	38.0	212.0
性別	男 性	996	2.1	0.5	0.8	35.6▲	263.6
	女 性	1,088	0.9▲	0.5	0.3	40.2	161.2▲
本人年齢別	60～64歳	380	5.3	2.1	1.3	22.4▲	458.9
	65～69歳	400	1.0	-	0.3	31.5▲	219.1
	70～74歳	463	0.6	0.4	0.4	35.6	157.0▲
	75～79歳	369	0.3▲	-	0.5	41.2	96.9▲
	80～84歳	273	0.7	-	0.4	57.1	66.7▲
	85～89歳	141	-	-	-	58.9	29.4▲
	90歳以上	58	1.7	-	-	43.1	36.4▲

本人の現在の職業別にみると、「就労収入なし」は無職で38.3%と高くなっている。「100万円未満」は、パート・アルバイトで高くなっている。

平均は、商工サービス業、常雇被用者で400万円台と高くなっている。一方、無職は75.9万円と低く、次いでパート・アルバイトが185.1万円となっている。(図表V-9)

<図表 V-9> 就労収入年額〔本人職業（現在）別〕

(単位：%)

		N	就労収入なし	100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満
全体		2,084	24.4	6.9	14.7	7.1	3.9	2.5
本人職業（現在）別	自営者	247	2.4▲	8.5	23.5	14.6	8.9	3.6
	農林漁業	29	-	10.3	27.6	3.4	3.4	-
	商工サービス業	174	1.7▲	7.5	26.4	17.8	9.2	4.0
	自由業	44	6.8▲	11.4	9.1	9.1	11.4	4.5
	常雇被用者	212	1.4▲	3.3▲	19.8	21.2	15.6	12.7
	公務員	38	-	5.3	21.1	18.4	15.8	13.2
	民間企業被用者	174	1.7▲	2.9▲	19.5	21.8	15.5	12.6
	非正規社員	293	1.7▲	19.1	36.9	15.4	2.7	1.0
	派遣社員・契約社員	48	-	8.3	37.5	27.1	6.3	2.1
	パート・アルバイト	245	2.0▲	21.2	36.7	13.1	2.0	0.8
無職	1,285	38.3	4.4▲	6.8▲	1.3▲	1.0▲	0.9▲	
その他	31	-	3.2	29.0	9.7	12.9	9.7	

		N	1,000～1,500万円未満	1,500～2,000万円未満	2,000万円以上	無回答	平年就均額労働収入（万円）
全体		2,084	1.5	0.5	0.5	38.0	212.0
本人職業（現在）別	自営者	247	5.7	1.6	1.6	29.6▲	435.9
	農林漁業	29	-	-	-	55.2	194.8
	商工サービス業	174	5.7	2.3	1.7	23.6▲	449.2
	自由業	44	9.1	-	2.3	36.4	485.0
	常雇被用者	212	4.7	1.4	1.4	18.4▲	498.4
	公務員	38	2.6	2.6	-	21.1▲	471.0
	民間企業被用者	174	5.2	1.1	1.7	17.8▲	504.1
	非正規社員	293	-	0.3	-	22.9▲	199.3
	派遣社員・契約社員	48	-	-	-	18.8▲	267.0
	パート・アルバイト	245	-	0.4	-	23.7▲	185.1▲
無職	1,285	0.5▲	0.1▲	0.2▲	46.6	75.9▲	
その他	31	3.2	3.2	-	29.0	449.6	

(4) その他収入年額

昨年1年間のその他収入年額を捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたと配偶者の夫婦2人（配偶者がいらっしゃらない場合はあなた）の昨年1年間の収入額（税込み）の内訳はどのようになりますか。(1) 公的年金と(2) 働いて得る収入、(3) その他の収入のそれぞれについて、おおよその金額で結構ですのでお答えください。なお、収入がない場合は、0円とお答えください。

- (1) 公的年金(国民年金、厚生年金、共済年金) …… 年間約 万円
 (2) 働いて得る収入 …… 年間約 万円
 (3) その他の収入 …… 年間約 万円

【その他収入年額】

(3) その他の収入に回答した金額を、以下の金額帯に分類

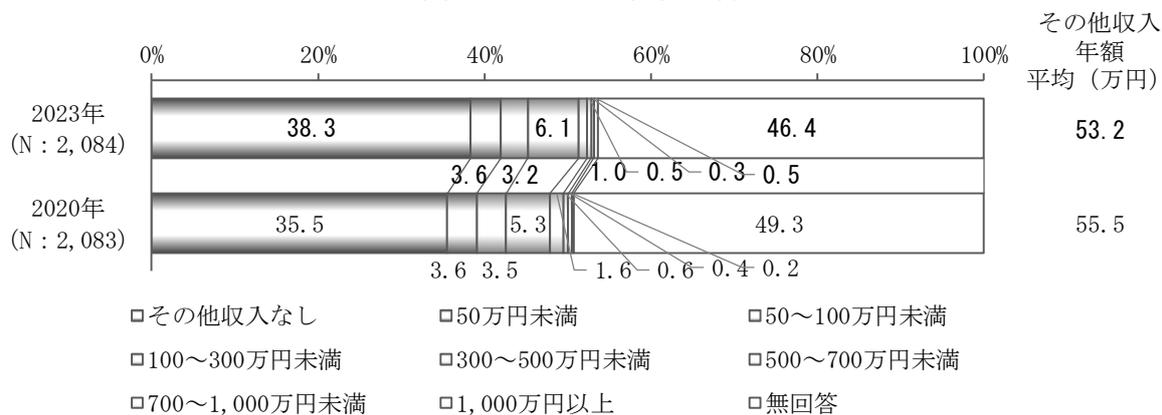
- | | |
|---------------|-----------------|
| 1 その他収入なし | 5 300～500万円未満 |
| 2 50万円未満 | 6 500～700万円未満 |
| 3 50～100万円未満 | 7 700～1,000万円未満 |
| 4 100～300万円未満 | 8 1,000万円以上 |

その結果、「その他収入なし」が38.3%を占めており、次いで、「100～300万円未満」が6.1%、「50万円未満」が3.6%、「50～100万円未満」が3.2%の順となっている。

また、平均は53.2万円となっている。

前回と比較すると、特に差はみられない。(図表V-10)

<図表 V-10> その他収入年額



性別にみると、「50万円未満」「700～1,000万円未満」は、男性の方が女性より高くなっている。平均は、性別では大きな差がみられない。
 年齢別にみると、「その他収入なし」は、60～64歳と90歳以上で高くなっている。平均は60～64歳で35.9万円と低くなっている。(図表V-11)

<図表 V-11> その他収入年額〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	その他 収入なし	50万円 未満	50～100 万円未満	100～300 万円未満	300～500 万円未満
全 体		2,084	38.3	3.6	3.2	6.1	1.0
性別	男 性	996	38.3	4.6	3.9	6.6	1.1
	女 性	1,088	38.4	2.8▲	2.6	5.6	0.9
本人 年齢別	60～64歳	380	45.0	5.5	3.9	6.3	0.8
	65～69歳	400	37.0	4.0	4.5	6.0	1.0
	70～74歳	463	35.2	2.6	3.7	7.1	1.3
	75～79歳	369	37.7	4.1	1.9	7.9	1.4
	80～84歳	273	35.2	1.8	2.9	3.7	1.1
	85～89歳	141	35.5	5.0	0.7	2.1▲	-
	90歳以上	58	55.2	-	1.7	6.9	-

		N	500～700 万円未満	700～ 1,000 万円未満	1,000 万円以上	無回答	平年そ 均額の 他収入 (万円)
全 体		2,084	0.5	0.3	0.5	46.4	53.2
性別	男 性	996	0.6	0.6	0.5	43.8▲	58.0
	女 性	1,088	0.5	-	0.6	48.7	48.3
本人 年齢別	60～64歳	380	-	0.3	0.5	37.6▲	35.9▲
	65～69歳	400	1.3	-	0.3	46.0	46.4
	70～74歳	463	0.4	0.2	0.9	48.6	63.7
	75～79歳	369	-	0.3	0.3	46.6	48.3
	80～84歳	273	0.4	0.4	1.1	53.5	91.4
	85～89歳	141	2.1	0.7	-	53.9	50.0
	90歳以上	58	-	1.7	-	34.5	36.9

本人の現在の職業別にみると、「その他収入なし」は自営者で低くなっている。
平均は、非正規社員で20.4万円と低くなっている。(図表V-12)

<図表 V-12> その他収入年額〔本人職業（現在）別〕

		(単位：%)					
		N	その他 収入なし	50万円 未満	50～100 万円未満	100～300 万円未満	300～500 万円未満
全 体		2,084	38.3	3.6	3.2	6.1	1.0
本人 職業 (現在) 別	自 営 者	247	31.6▲	4.0	4.0	7.7	1.6
	農 林 漁 業	29	6.9▲	6.9	3.4	3.4	-
	商 工 サ ー ビ ス 業	174	35.6	3.4	5.2	8.6	2.3
	自 由 業	44	31.8	4.5	-	6.8	-
	常 雇 被 用 者	212	41.0	4.7	3.8	7.5	0.5
	公 務 員	38	42.1	5.3	7.9	13.2	-
	民 間 企 業 被 用 者	174	40.8	4.6	2.9	6.3	0.6
	非 正 規 社 員	293	37.9	4.1	2.4	4.4	1.0
	派 遣 社 員 ・ 契 約 社 員	48	41.7	8.3	-	6.3	-
	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	245	37.1	3.3	2.9	4.1	1.2
無 職	1,285	39.8	3.3	3.1	5.8	1.0	
そ の 他	31	29.0	3.2	6.5	6.5	-	

		N	500～700 万円未満	700～ 1,000 万円未満	1,000 万円以上	無回答	平年そ 均額の 他収入 (万円)
全 体		2,084	0.5	0.3	0.5	46.4	53.2
本人 職業 (現在) 別	自 営 者	247	-	0.4	1.6	49.0	84.9
	農 林 漁 業	29	-	3.4	3.4	72.4	320.0
	商 工 サ ー ビ ス 業	174	-	-	1.7	43.1	78.6
	自 由 業	44	-	-	-	56.8	19.0▲
	常 雇 被 用 者	212	0.5	0.5	0.5	41.0	49.8
	公 務 員	38	-	-	-	31.6	37.6
	民 間 企 業 被 用 者	174	0.6	0.6	0.6	43.1	53.0
	非 正 規 社 員	293	-	-	-	50.2	20.4▲
	派 遣 社 員 ・ 契 約 社 員	48	-	-	-	43.8	16.3▲
	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	245	-	-	-	51.4	21.4▲
無 職	1,285	0.8	0.2	0.5	45.6	54.3	
そ の 他	31	-	3.2	-	51.6	70.7	

(5) 年収に占める割合

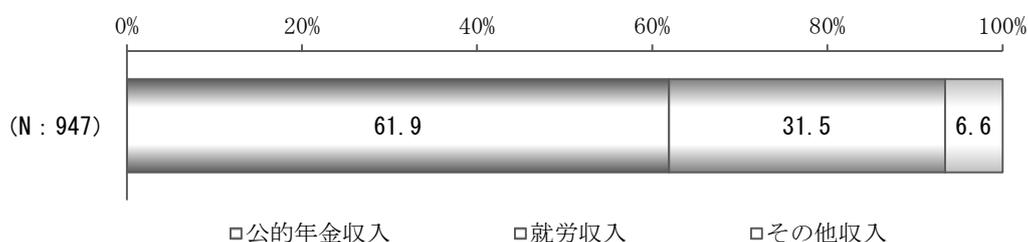
前述の(1)～(4)の項目に基づき、世帯年収に占める公的年金収入、就労収入、その他収入の割合を算出し、それぞれの平均を求めた。

【年収に占める割合】

- 1 公的年金収入／世帯年収……………以下「公的年金収入」
- 2 就労収入／世帯年収……………以下「就労収入」
- 3 その他収入／世帯年収……………以下「その他収入」

その結果、「公的年金収入」が 61.9%と最も多く、次いで、「就労収入」が 31.5%、「その他収入」が 6.6%となっている。(図表V-13)

<図表 V-13> 年収に占める割合【平均】



性別にみると、世帯年収に占める「公的年金収入」の割合は女性の方が男性を上回っているが、「就労収入」は男性の方が女性より高くなっている。

年齢別にみると、「公的年金収入」は60～64歳で18.1%と最も低く、高い年齢層ほど高くなっている。逆に「就労収入」は60～64歳で74.6%と最も高く、高い年齢層ほど低くなっている。(図表V-14)

<図表 V-14> 年収に占める割合【平均】〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	公的年金収入	就労収入	その他収入
全 体		947	61.9	31.5	6.6
性別	男 性	486	55.8▲	37.2	6.9
	女 性	461	68.3	25.5▲	6.2
本人年齢別	60～64歳	203	18.1▲	74.6	7.3
	65～69歳	197	55.0▲	37.3	7.7
	70～74歳	207	72.7	20.7▲	6.5
	75～79歳	174	79.8	13.0▲	7.2
	80～84歳	94	88.0	6.9▲	5.1
	85～89歳	48	94.4	2.6▲	2.9
	90歳以上	24	99.1	-	0.9▲

本人の現在の職業別にみると、「公的年金収入」は無職で82.2%と高くなっている。「就労収入」は有職者で高くなっている。(図表V-15)

<図表 V-15> 年収に占める割合【平均】〔本人職業（現在）別〕

(単位：%)

		N	公的年金収入	就労収入	その他収入
全 体		947	61.9	31.5	6.6
本人職業（現在）別	自 営 者	111	30.5▲	60.8	8.6
	農 林 漁 業	6	39.1▲	33.8	27.1
	商 工 サ ー ビ ス 業	89	31.0▲	61.2	7.8
	自 由 業	16	24.8▲	68.6	6.6
	常 雇 被 用 者	118	18.0▲	76.3	5.7
	公 務 員	24	26.3▲	67.5	6.2
	民 間 企 業 被 用 者	94	15.9▲	78.6	5.5
	非 正 規 社 員	136	45.5▲	50.2	4.3▲
	派 遣 社 員 ・ 契 約 社 員	25	31.2▲	65.7	3.1▲
	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	111	48.7▲	46.8	4.5▲
無 職	561	82.2	10.9▲	6.9	
そ の 他	14	28.3▲	68.0	3.7	

世帯年収別にみると、「公的年金収入」は300万円未満の層で8割台と高くなっているが、高年収層ほど低くなっている傾向がみられる。「就労収入」は高年収層ほど高くなっている傾向がみられる。「その他収入」は、500～1,000万円未満の層で高くなっている。(図表V-16)

<図表 V-16> 年収に占める割合【平均】〔世帯年収別〕

(単位：%)

		N	公的年金収入	就労収入	その他収入
全 体		947	61.9	31.5	6.6
世帯年収別	100 万 円 未 満	52	89.1	8.9▲	1.9▲
	100 ～ 300 万 円 未 満	329	81.7	14.9▲	3.4▲
	300 ～ 500 万 円 未 満	328	63.0	30.5	6.5
	500 ～ 700 万 円 未 満	118	37.4▲	52.2	10.4
	700 ～ 1,000 万 円 未 満	65	24.1▲	63.0	12.9
	1,000 ～ 1,500 万 円 未 満	39	9.4▲	77.1	13.4
	1,500 ～ 2,000 万 円 未 満	8	10.0▲	68.0	22.0
	2,000 万 円 以 上	8	2.7▲	84.8	12.5

世帯保有金融資産別にみると、「公的年金収入」は100万円未満層で70.3%と高くなっている。「就労収入」は、500～1,000万円未満層で高くなっている。「その他収入」は、2,000万円以上層で高くなっている。(図表V-17)

<図表 V-17> 年収に占める割合【平均】〔世帯保有金融資産別〕

(単位：%)

		N	公的年金収入	就労収入	その他収入
全 体		947	61.9	31.5	6.6
金融資産別 世帯保有	100万円未満	99	70.3	27.9	1.8▲
	100～500万円未満	144	61.4	34.9	3.7▲
	500～1,000万円未満	120	53.6▲	43.8	2.6▲
	1,000～2,000万円未満	164	59.7	33.8	6.5
	2,000万円以上	256	55.3▲	31.2	13.5

2. 支出

(1) 夫婦の生活費月額

自分自身と配偶者（配偶者がいない場合は自分自身のみ）の生活費月額を捉えるため、以下のよう
に尋ねた。

あなたと配偶者の夫婦2人（配偶者がいらっしゃらない場合はあなた）の生活費についてお伺いします。(1) 月々の生活費（注）と（2）そのうち医療・介護費用として窓口で支払っている月々の金額のそれぞれについて、おおよそで結構ですのでお答えください。なお、費用の支出がない場合は、0円とお答えください。

（注） 含めるもの： 衣食住関連費や光熱費、交通費、通信費などの他、医療・介護費や教養・娯楽費、子供や孫・親等への仕送り、教育費、税・社会保険料
除くもの： 住宅ローンなどのローン返済額や貯蓄や保険料の支払い

(1) 月々の生活費 ……月額約 万円

(2) うち医療・介護費用 ……月額約 万 千円

【夫婦の生活費月額】

(1) 月々の生活費に回答した金額を、以下の金額帯に分類

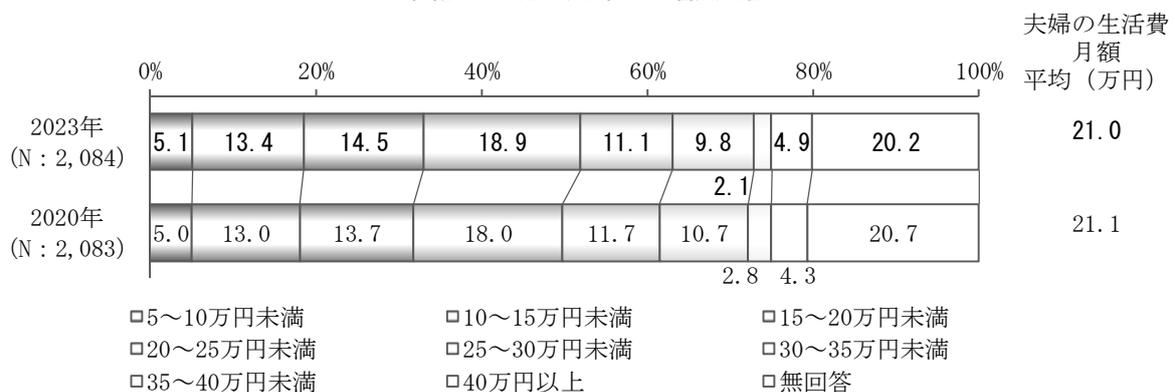
- | | |
|-------------|-------------|
| 1 5～10万円未満 | 5 25～30万円未満 |
| 2 10～15万円未満 | 6 30～35万円未満 |
| 3 15～20万円未満 | 7 35～40万円未満 |
| 4 20～25万円未満 | 8 40万円以上 |

その結果、「20～25万円未満」が18.9%と最も多く、次いで、「15～20万円未満」が14.5%、「10～15万円未満」が13.4%、「25～30万円未満」が11.1%の順となっている。

また、平均は21.0万円となっている。

前回と比較すると、特に差はみられない。(図表V-18)

<図表 V-18> 夫婦の生活費月額



性別にみると、「5～10万円未満」「10～15万円未満」は、男性より女性の方が上回っている。一方、「25～30万円未満」「35～40万円未満」「40万円以上」は男性の方が女性より高くなっている。

平均は、女性の19.4万円より男性の22.6万円が上回っている。

年齢別にみると、「5～10万円未満」「10～15万円未満」は、85～89歳で最も高くなっている。

平均は、60～64歳の22.6万円が最も高く、高い年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。(図表V-19)

<図表 V-19> 夫婦の生活費月額〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	5～10 万円未満	10～15 万円未満	15～20 万円未満	20～25 万円未満	25～30 万円未満
全 体		2,084	5.1	13.4	14.5	18.9	11.1
性別	男 性	996	4.1▲	11.3▲	14.0	18.8	12.6
	女 性	1,088	6.1	15.3	15.0	19.0	9.7▲
本人 年齢別	60～64歳	380	4.5	10.0▲	13.9	21.1	11.6
	65～69歳	400	4.8	13.3	12.8	22.5	13.3
	70～74歳	463	3.5	11.4	14.9	20.7	12.3
	75～79歳	369	5.4	14.4	17.6	17.1	11.9
	80～84歳	273	5.5	17.2	13.2	15.8	8.4
	85～89歳	141	10.6	19.9	14.9	13.5	4.3▲
	90歳以上	58	8.6	12.1	12.1	5.2▲	6.9

		N	30～35 万円未満	35～40 万円未満	40万円 以上	無回答	平月夫 均額婦 の生活 費 (万円)
全 体		2,084	9.8	2.1	4.9	20.2	21.0
性別	男 性	996	11.0	2.8	7.1	18.3▲	22.6
	女 性	1,088	8.7	1.5▲	2.8▲	21.9	19.4▲
本人 年齢別	60～64歳	380	13.4	1.6	7.1	16.8	22.6
	65～69歳	400	9.5	3.0	5.5	15.5▲	21.3
	70～74歳	463	11.4	2.4	4.8	18.6	21.7
	75～79歳	369	7.9	2.4	3.5	19.8	20.1▲
	80～84歳	273	7.7	0.7	4.4	27.1	20.0▲
	85～89歳	141	5.7	2.1	3.5	25.5	17.6▲
	90歳以上	58	8.6	1.7	1.7	43.1	18.5▲

世帯年収別にみると、「5～10万円未満」は100万円未満層で、「10～15万円未満」「15～20万円未満」は100～300万円未満層で、「20～25万円未満」「25～30万円未満」は300～500万円未満層で、「30～35万円未満」は700～1,000万円未満層で、それぞれ最も高くなっている。

平均は、概ね高年収層ほど高くなっている傾向がみられる。(図表V-20)

<図表 V-20> 夫婦の生活費月額〔世帯年収別〕

(単位：%)

		N	5～10 万円未満	10～15 万円未満	15～20 万円未満	20～25 万円未満	25～30 万円未満
全 体		2,084	5.1	13.4	14.5	18.9	11.1
世帯 年 収 別	100 万 円 未 満	52	25.0	26.9	9.6	11.5	-
	100 ～ 300 万 円 未 満	329	5.8	28.9	26.4	21.6	6.4▲
	300 ～ 500 万 円 未 満	328	0.6▲	8.2▲	14.0	29.6	24.7
	500 ～ 700 万 円 未 満	118	-	1.7▲	11.9	22.0	18.6
	700 ～ 1,000 万 円 未 満	65	-	-	6.2	18.5	16.9
	1,000 ～ 1,500 万 円 未 満	39	-	5.1	10.3	10.3	12.8
	1,500 ～ 2,000 万 円 未 満	8	12.5	-	-	-	25.0
	2,000 万 円 以 上	8	-	-	-	-	12.5

		N	30～35 万円未満	35～40 万円未満	40万円 以上	無回答	平月夫 均額婦 の生 活費 (万 円)
全 体		2,084	9.8	2.1	4.9	20.2	21.0
世帯 年 収 別	100 万 円 未 満	52	5.8	-	1.9	19.2	14.7▲
	100 ～ 300 万 円 未 満	329	1.8▲	0.9	0.9▲	7.3▲	16.4▲
	300 ～ 500 万 円 未 満	328	13.4	3.4	3.0	3.0▲	22.9
	500 ～ 700 万 円 未 満	118	24.6	6.8	11.0	3.4▲	26.6
	700 ～ 1,000 万 円 未 満	65	29.2	6.2	23.1	-	31.3
	1,000 ～ 1,500 万 円 未 満	39	25.6	-	30.8	5.1▲	29.3
	1,500 ～ 2,000 万 円 未 満	8	25.0	-	37.5	-	31.9
	2,000 万 円 以 上	8	25.0	-	25.0	37.5	37.0

(2) 医療・介護費用月額

①医療・介護費用月額

自分自身と配偶者（配偶者がいない場合は自分自身のみ）の医療・介護費用月額を捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたと配偶者の夫婦2人（配偶者がいらっしゃらない場合はあなた）の生活費についてお伺いします。(1) 月々の生活費（注）と（2）そのうち医療・介護費用として窓口で支払っている月々の金額のそれぞれについて、おおよそで結構ですでお答えください。なお、費用の支出がない場合は、0円とお答えください。

（注）含めるもの： 衣食住関連費や光熱費、交通費、通信費などの他、医療・介護費や教養・娯楽費、子供や孫・親等への仕送り、教育費、税・社会保険料
 除くもの： 住宅ローンなどのローン返済額や貯蓄や保険料の支払い

(1) 月々の生活費 …………… 月額約 万円

(2) うち医療・介護費用 …… 月額約 万 千円

【医療・介護費用月額】

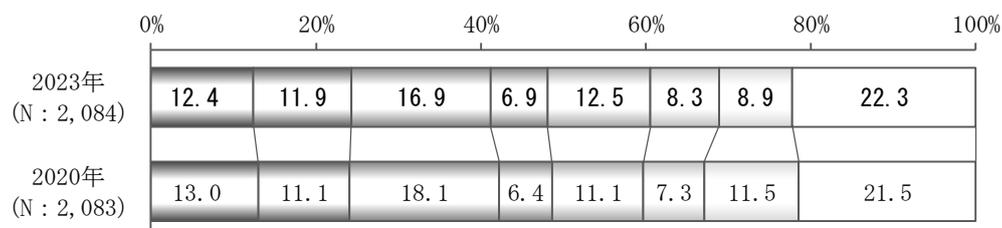
(2) 医療・介護費用に回答した金額を、以下の金額帯に分類

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 5,000円未満 | 5 20,000～30,000円未満 |
| 2 5,000～10,000円未満 | 6 30,000～50,000円未満 |
| 3 10,000～15,000円未満 | 7 50,000円以上 |
| 4 15,000～20,000円未満 | |

その結果、「10,000～15,000円未満」が16.9%と最も多く、次いで、「20,000～30,000円未満」が12.5%、「5,000円未満」が12.4%、「5,000～10,000円未満」が11.9%の順となっている。

平均は20,600円となっている。（図表V-21）

<図表 V-21> 医療・介護費用月額



- | | | |
|---|---|---|
| <input type="checkbox"/> 5,000円未満 | <input type="checkbox"/> 5,000～10,000円未満 | <input type="checkbox"/> 10,000～15,000円未満 |
| <input type="checkbox"/> 15,000～20,000円未満 | <input type="checkbox"/> 20,000～30,000円未満 | <input type="checkbox"/> 30,000～50,000円未満 |
| <input type="checkbox"/> 50,000円以上 | <input type="checkbox"/> 無回答 | |

性別にみると、「5,000円未満」「5,000～10,000円未満」は、男性より女性の方が上回っている。一方、「20,000～30,000円未満」「30,000～50,000円未満」「50,000円以上」は男性の方が女性より高くなっている。

平均は、女性の17,600円より男性の23,800円が上回っている。

年齢別にみると、平均は60～64歳で16,200円と低くなっている。(図表V-22)

<図表 V-22> 医療・介護費用月額〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～15,000円未満	15,000～20,000円未満	20,000～30,000円未満	30,000～50,000円未満	50,000円以上	無回答	平費医 均用療 (月・ 万額介 護 円)
全 体		2,084	12.4	11.9	16.9	6.9	12.5	8.3	8.9	22.3	2.06
性別	男 性	996	10.3▲	9.9▲	16.6	7.7	14.3	9.6	11.1	20.4▲	2.38
	女 性	1,088	14.3	13.6	17.2	6.2	10.8▲	7.1▲	6.8▲	24.0	1.76▲
本人 年齢別	60～64歳	380	17.1	12.9	21.1	6.1	8.9▲	6.8	6.8	20.3	1.62▲
	65～69歳	400	11.3	9.5	16.3	7.8	15.5	10.8	10.0	19.0	2.13
	70～74歳	463	10.8	11.7	16.4	7.1	14.9	8.4	9.5	21.2	2.17
	75～79歳	369	10.6	13.3	18.4	8.4	11.4	8.4	7.0	22.5	1.90
	80～84歳	273	11.0	11.0	13.2	6.6	11.4	8.8	9.2	28.9	2.35
	85～89歳	141	14.9	15.6	13.5	5.0	9.9	5.7	12.8	22.7	2.55
	90歳以上	58	15.5	8.6	13.8	1.7	13.8	3.4	10.3	32.8	2.28

世帯年収別にみると、「5,000円未満」は、100万円未満層で38.5%と最も高く、100～300万円未満層でも20.4%と高くなっている。「5,000～10,000円未満」は300～500万円未満層で、「10,000～15,000円未満」は100～500万円未満の層で、「15,000～20,000円未満」は500～700万円未満層で、「20,000～30,000円未満」は300～500万円未満層で、それぞれ高くなっている。

平均は、100万円未満層で8,500円、100～300万円未満層で17,100円と低くなっている。(図表V-23)

<図表 V-23> 医療・介護費用月額〔世帯年収別〕

(単位：%)

		N	5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～15,000円未満	15,000～20,000円未満	20,000～30,000円未満	30,000～50,000円未満	50,000円以上	無回答	平費医 均用療 (月・ 万額介 護 円)
全 体		2,084	12.4	11.9	16.9	6.9	12.5	8.3	8.9	22.3	2.06
世帯 年収別	100万円未満	52	38.5	11.5	15.4	3.8	9.6	5.8	-	15.4	0.85▲
	100～300万円未満	329	20.4	13.7	22.5	8.8	15.2	6.4	7.3	5.8▲	1.71▲
	300～500万円未満	328	11.9	17.4	20.7	7.9	19.5	11.0	7.9	3.7▲	1.94
	500～700万円未満	118	7.6	12.7	18.6	13.6	16.1	11.0	15.3	5.1▲	2.55
	700～1,000万円未満	65	7.7	6.2	20.0	12.3	18.5	12.3	16.9	6.2▲	2.76
	1,000～1,500万円未満	39	15.4	10.3	12.8	12.8	15.4	12.8	17.9	2.6▲	3.41
	1,500～2,000万円未満	8	25.0	12.5	12.5	-	-	37.5	12.5	-	2.13
	2,000万円以上	8	12.5	-	12.5	-	-	37.5	25.0	12.5	2.93

客観的健康状態別にみると、平均は、差し支えあり層で17,800円と低くなっている。(図表V-24)

<図表 V-24> 医療・介護費用月額〔客観的健康状態別〕

(単位：%)

		N	5,000円 未満	5,000～ 10,000円 未満	10,000～ 15,000円 未満	15,000～ 20,000円 未満	20,000～ 30,000円 未満	30,000～ 50,000円 未満	50,000円 以上	無回答	平均医療 費用月額 (介護 費用)
全 体		2,084	12.4	11.9	16.9	6.9	12.5	8.3	8.9	22.3	2.06
客 観 的 健 康 状 態 別	差 し 支 え な し	858	11.5	11.1	18.1	6.3	12.2	9.8	9.8	21.2	2.13
	ほんの少し差し支えあり	689	11.6	14.5	18.6	7.5	11.6	8.6	8.9	18.7▲	2.05
	差 し 支 え あ り	348	15.5	10.3	14.1	6.9	14.7	4.9▲	6.6	27.0	1.78▲
	大いに差し支えあり	139	11.5	9.4	10.1▲	6.5	15.1	8.6	10.1	28.8	2.50

②生活費に占める医療・介護費用の割合

前述の(1)～(2)の結果に基づき、生活費に占める医療・介護費用の割合を算出し、以下のように分類した。

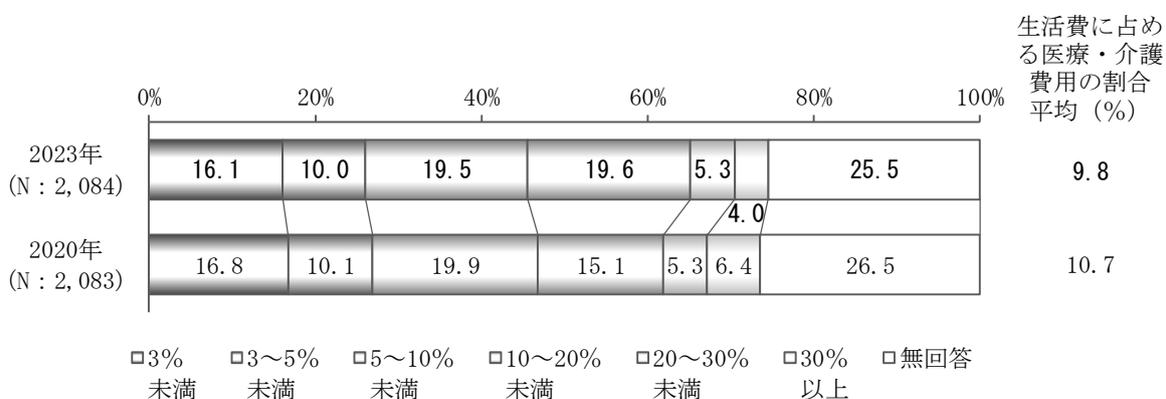
【生活費に占める医療・介護費用の割合】	
1 3%未満	4 10～20%未満
2 3～5%未満	5 20～30%未満
3 5～10%未満	6 30%以上

その結果、「10～20%未満」が19.6%と最も多く、次いで、「5～10%未満」が19.5%、「3%未満」が16.1%、「3～5%未満」が10.0%の順となっている。

また、平均は9.8%となっている。

前回と比較すると、「10～20%未満」が4.5ポイント増加し、「30%以上」が2.4ポイント減少している。また、平均は0.9ポイント減少している。(図表V-25)

<図表 V-25> 生活費に占める医療・介護費用の割合



性別にみると、「3%未満」は女性の方が男性を上回り、「10~20%未満」「30%以上」は男性の方が女性より高くなっている。

平均をみると、女性で9.0%と低くなっている。

年齢別にみると、「3%未満」は60~64歳で高くなっている。

平均をみると、60~64歳で7.8%と低くなっている。(図表V-26)

<図表 V-26> 生活費に占める医療・介護費用の割合〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	3%未満	3~5%未満	5~10%未満	10~20%未満	20~30%未満	30%以上	無回答	平均介護生活費に占める医療・費用の割合(%)
全 体		2,084	16.1	10.0	19.5	19.6	5.3	4.0	25.5	9.8
性別	男 性	996	14.3▲	10.6	19.5	21.6	6.1	4.9	23.0▲	10.6
	女 性	1,088	17.7	9.4	19.5	17.8▲	4.6	3.2▲	27.8	9.0▲
本人年齢別	60~64歳	380	24.2	12.6	17.9	17.6	2.9▲	2.6	22.1	7.8▲
	65~69歳	400	14.8	8.3	24.8	21.0	6.8	4.3	20.3▲	10.1
	70~74歳	463	15.3	9.9	19.9	20.5	6.9	3.0	24.4	9.6
	75~79歳	369	15.4	11.1	19.8	20.3	4.3	4.9	24.1	10.0
	80~84歳	273	9.5▲	8.4	17.9	19.4	5.1	4.8	34.8	11.2
	85~89歳	141	15.6	8.5	14.9	19.1	6.4	6.4	29.1	11.6
	90歳以上	58	13.8	8.6	6.9▲	13.8	3.4	5.2	48.3	11.0

世帯年収別にみると、「3%未満」は、500万円未満の層で高くなっている。「3~5%未満」は300~700万円未満の層で、「5~10%未満」は300~500万円未満層で、「10~20%未満」は100~300万円未満層で、それぞれ高くなっている。

平均をみると、100万円未満層と300~500万円未満層で低くなっている。(図表V-27)

<図表 V-27> 生活費に占める医療・介護費用の割合〔世帯年収別〕

(単位：%)

		N	3%未満	3~5%未満	5~10%未満	10~20%未満	20~30%未満	30%以上	無回答	平均介護生活費に占める医療・費用の割合(%)
全 体		2,084	16.1	10.0	19.5	19.6	5.3	4.0	25.5	9.8
世帯年収別	100万円未満	52	26.9	7.7	15.4	17.3	3.8	-	28.8	6.1▲
	100~300万円未満	329	21.6	9.7	20.4	26.4	6.7	5.2	10.0▲	10.1
	300~500万円未満	328	23.8	14.0	26.2	23.5	4.6	2.7	5.2▲	8.4▲
	500~700万円未満	118	19.5	16.9	26.3	23.7	1.7	5.9	5.9▲	9.1
	700~1,000万円未満	65	20.0	15.4	26.2	24.6	3.1	4.6	6.2▲	9.2
	1,000~1,500万円未満	39	20.5	12.8	25.6	23.1	-	12.8	5.1▲	12.2
	1,500~2,000万円未満	8	37.5	-	25.0	37.5	-	-	-	6.9
	2,000万円以上	8	-	12.5	25.0	12.5	12.5	-	37.5	9.5

客観的健康状態別にみると、「3%未満」はほんの少し差し支えあり層で高く、大いに差し支えあり層で低くなっている。「30%以上」は、大いに差し支えあり層で高くなっている。

平均は、大いに差し支えあり層で14.2%と高くなっている。(図表V-28)

<図表 V-28> 生活費に占める医療・介護費用の割合〔客観的健康状態別〕

(単位：%)

		N	3%未満	3~5%未満	5~10%未満	10~20%未満	20~30%未満	30%以上	無回答	平均生活費に占める医療・介護費用の割合(%)
全体		2,084	16.1	10.0	19.5	19.6	5.3	4.0	25.5	9.8
客観的健康状態別	差し支えなし	858	15.2	10.7	21.2	20.0	5.6	3.7	23.5	9.6
	ほんの少し差し支えあり	689	18.6	11.3	20.8	19.4	5.2	4.1	20.6▲	9.5
	差し支えあり	348	16.7	6.6▲	17.8	19.3	4.9	3.2	31.6	9.5
	大いに差し支えあり	139	7.9▲	6.5	10.8▲	20.1	6.5	7.9	40.3	14.2

3. 保有金融資産

(1) 世帯保有金融資産額

世帯の保有金融資産の合計金額を捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたと家計を同一とする世帯の保有資産（預貯金、株式・公社債、保険等の金融資産）の（1）金額合計と、（2）そのうち保険の金額合計はそれぞれこの中のどれになりますか。わかる範囲で結構ですのでお答えください。

- （注1）不動産や負債（住宅ローン等）の額は除いてください。
 （注2）株式は時価、公社債は額面金額としてください。
 （注3）保険は、生命保険・損害保険ともに満期保険金のあるものまたは個人年金のみを対象にし、加入してからこれまでの払込保険料の総額としてください。

(1) 保有金融資産の合計金額

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1 100万円未満 | 11 1,000万円以上1,200万円未満 |
| 2 100万円以上200万円未満 | 12 1,200万円以上1,400万円未満 |
| 3 200万円以上300万円未満 | 13 1,400万円以上1,600万円未満 |
| 4 300万円以上400万円未満 | 14 1,600万円以上1,800万円未満 |
| 5 400万円以上500万円未満 | 15 1,800万円以上2,000万円未満 |
| 6 500万円以上600万円未満 | 16 2,000万円以上2,500万円未満 |
| 7 600万円以上700万円未満 | 17 2,500万円以上3,000万円未満 |
| 8 700万円以上800万円未満 | 18 3,000万円以上4,000万円未満 |
| 9 800万円以上900万円未満 | 19 4,000万円以上 |
| 10 900万円以上1,000万円未満 | |

【世帯保有金融資産額】

- | | |
|----------------------|----------|
| 1 100万円未満 | 回答が1 |
| 2 100万円以上500万円未満 | 回答が2～5 |
| 3 500万円以上1,000万円未満 | 回答が6～10 |
| 4 1,000万円以上2,000万円未満 | 回答が11～15 |
| 5 2,000万円以上 | 回答が16～19 |

その結果、「2,000万円以上」が19.1%と最も多く、次いで、「1,000万円以上2,000万円未満」が13.4%、「100万円以上500万円未満」が12.7%の順となっている。（図表V-29）

<図表 V-29> 世帯保有金融資産額



性別にみると、「2,000万円以上」は、男性が女性を上回っている。

年齢別にみると、「100万円以上500万円未満」は65～69歳で、「500万円以上1,000万円未満」は60～64歳で、それぞれ高くなっている。「2,000万円以上」は、85～89歳で低くなっている。(図表V-30)

<図表 V-30> 世帯保有金融資産額〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	100万円未満	100万円以上 500万円未満	500万円以上 1,000万円未満	1,000万円以上 2,000万円未満	2,000万円以上	無回答
全 体		2,084	9.8	12.7	9.8	13.4	19.1	35.1
性別	男 性	996	10.1	13.7	10.1	14.9	22.1	29.1▲
	女 性	1,088	9.5	11.9	9.6	12.1	16.5▲	40.5
本人 年齢別	60～64歳	380	8.9	11.8	14.5	16.1	20.5	28.2▲
	65～69歳	400	11.8	15.8	7.3	12.3	22.5	30.5▲
	70～74歳	463	9.9	10.4	11.2	14.5	20.1	33.9
	75～79歳	369	8.1	12.7	7.6	14.9	17.6	39.0
	80～84歳	273	9.9	15.0	8.1	11.0	16.5	39.6
	85～89歳	141	9.2	11.3	9.9	10.6	12.8▲	46.1
	90歳以上	58	12.1	8.6	8.6	5.2	17.2	48.3

世帯年収別にみると、「100万円未満」「100万円以上500万円未満」は、低年収層ほど高くなっている傾向がみられる。一方、「2,000万円以上」は、高年収層ほど高くなっている傾向がみられる。(図表V-31)

<図表 V-31> 世帯保有金融資産額〔世帯年収別〕

(単位：%)

		N	100万円未満	100万円以上 500万円未満	500万円以上 1,000万円未満	1,000万円以上 2,000万円未満	2,000万円以上	無回答
全 体		2,084	9.8	12.7	9.8	13.4	19.1	35.1
世帯 年収別	100万円未満	52	32.7	21.2	5.8	9.6	5.8▲	25.0
	100～300万円未満	329	16.1	17.3	17.0	11.6	14.0▲	24.0▲
	300～500万円未満	328	6.1▲	17.1	8.8	22.0	31.4	14.6▲
	500～700万円未満	118	4.2▲	9.3	15.3	22.0	36.4	12.7▲
	700～1,000万円未満	65	4.6	10.8	16.9	23.1	36.9	7.7▲
	1,000～1,500万円未満	39	-	5.1	7.7	15.4	66.7	5.1▲
	1,500～2,000万円未満	8	12.5	-	-	25.0	50.0	12.5
	2,000万円以上	8	-	-	-	-	87.5	12.5

(2) 既払込保険料総額（掛け捨てを除く）

既払込保険料総額を捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたと家計を同一とする世帯の保有資産（預貯金、株式・公社債、保険等の金融資産）の（1）金額合計と、（2）そのうち保険の金額合計はそれぞれこの中のどれになりますか。わかる範囲で結構ですでお答えください。

- （注1）不動産や負債（住宅ローン等）の額は除いてください。
 （注2）株式は時価、公社債は額面金額としてください。
 （注3）保険は、生命保険・損害保険ともに満期保険金のあるものまたは個人年金のみを対象にし、加入してからこれまでの払込保険料の総額としてください。

(2) うち保険の合計金額

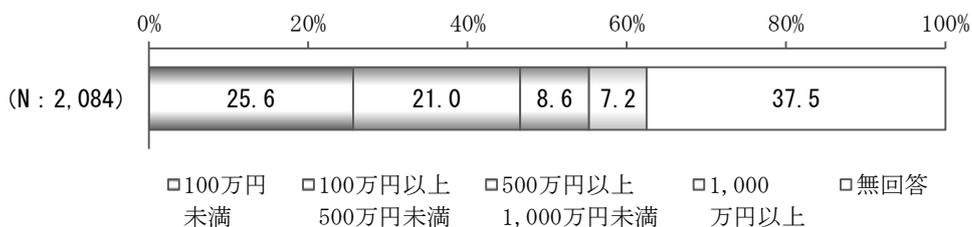
- | | |
|------------------|---------------------|
| 1 100万円未満 | 7 600万円以上700万円未満 |
| 2 100万円以上200万円未満 | 8 700万円以上800万円未満 |
| 3 200万円以上300万円未満 | 9 800万円以上900万円未満 |
| 4 300万円以上400万円未満 | 10 900万円以上1,000万円未満 |
| 5 400万円以上500万円未満 | 11 1,000万円以上 |
| 6 500万円以上600万円未満 | |

【既払込保険料総額（掛け捨てを除く）】

- | | |
|--------------------|---------|
| 1 100万円未満 | 回答が1 |
| 2 100万円以上500万円未満 | 回答が2～5 |
| 3 500万円以上1,000万円未満 | 回答が6～10 |
| 4 1,000万円以上 | 回答が11 |

その結果、「100万円未満」が25.6%と最も多く、次いで、「100万円以上500万円未満」が21.0%、「500万円以上1,000万円未満」が8.6%、「1,000万円以上」が7.2%の順となっている。（図表V-32）

<図表 V-32> 既払込保険料総額（掛け捨てを除く）



性別にみると、「100万円未満」は男性の方が女性を上回っている。

年齢別にみると、「100万円未満」は65～69歳で高く、80～84歳で低くなっている。「100万円以上500万円未満」は85～89歳で低く、「500万円以上1,000万円未満」は60～64歳で高くなっている。

(図表V-33)

<図表 V-33> 既払込保険料総額（掛け捨てを除く）〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	100万円未満	100万円以上500万円未満	500万円以上1,000万円未満	1,000万円以上	無回答
全 体		2,084	25.6	21.0	8.6	7.2	37.5
性別	男 性	996	29.4	21.6	9.1	7.6	32.2▲
	女 性	1,088	22.2▲	20.5	8.2	6.9	42.3
本人年齢別	60～64歳	380	27.6	23.9	11.3	7.9	29.2▲
	65～69歳	400	30.0	22.5	7.8	9.3	30.5▲
	70～74歳	463	26.6	21.8	9.1	6.9	35.6
	75～79歳	369	24.1	20.3	10.3	5.7	39.6
	80～84歳	273	19.8▲	20.1	6.6	6.6	46.9
	85～89歳	141	23.4	12.8▲	5.0	6.4	52.5
	90歳以上	58	17.2	13.8	1.7	6.9	60.3

世帯年収別にみると、「100万円未満」は100～300万円未満層で、「100万円以上500万円未満」は300～500万円未満層で、それぞれ高くなっている。「500万円以上1,000万円未満」「1,000万円以上」は、概ね高年収層ほど高くなっている傾向がみられる。(図表V-34)

<図表 V-34> 既払込保険料総額（掛け捨てを除く）〔世帯年収別〕

(単位：%)

		N	100万円未満	100万円以上500万円未満	500万円以上1,000万円未満	1,000万円以上	無回答
全 体		2,084	25.6	21.0	8.6	7.2	37.5
世帯年収別	100万円未満	52	36.5	23.1	-	5.8	34.6
	100～300万円未満	329	40.4	18.2	7.6	4.0▲	29.8▲
	300～500万円未満	328	29.9	29.3	14.6	9.8	16.5▲
	500～700万円未満	118	23.7	27.1	17.8	19.5	11.9▲
	700～1,000万円未満	65	23.1	26.2	24.6	20.0	6.2▲
	1,000～1,500万円未満	39	17.9	28.2	25.6	20.5	7.7▲
	1,500～2,000万円未満	8	25.0	-	37.5	25.0	12.5
	2,000万円以上	8	25.0	12.5	12.5	37.5	12.5